

+Affiliated with the International Association
THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HACHIOJI
Chartered October 30, 1994



〒 192-0906
東京都 八王子市北野町 575-22
並木 真 TEL : 090-4314-3044
Fax: 042-649-5276
E-mail: m.namiki1020heartbeat@gmail.com

2025年5月

The Service Club of The YMCA

第359号

東京八王子ワイズメンズクラブ

会 長 並木 真
副会長 久保田 貞視
書 記 小口 多津子
会 計 長谷川 あや子
直前会長 花輪 宗命
担当主事 西嶋 健太
ブリテン 山本英次 大久保重子

国際会長 A シャナヴァスカーン (インド) 主題「より良い世界のために、共に」
スローガン「立ち上がろう、そして輝こう」
アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウォン (台湾) 主題「大きなインパクトを起こそう」
スローガン「大胆に、信念を持って奉仕しよう」
東日本区理事 山田 公平 (宇都宮) 主題「ワイズの方向性を見極める」
スローガン「ユースエンパワーメントをYMCAと共に」
あずさ部部長 ピーター・マウントフォード (甲府) 主題「めあて 望み」
八王子クラブ会長 並木 真 主題「協働と共感」

5月第一例会プログラム (中央大学ひつじくも新入生歓迎 草刈・バーベキュー例会)

(担当:B班 久保田、並木真、望月、花輪)

日時: 2025 年 5 月 17 日 (土) 10:00~14:00

会場: 高尾の森わくわくビレッジ(八王子市)

会費: メン 1,500 円 メネット・ゲスト・ビジター 2,500 円

中大ひつじくも 500 円

受付・会計: 長谷川、稲葉

進行: 作業・親睦 久保田、並木会長、花輪、西嶋

【プログラム】

10:00 開会式(@4階会議室)

挨拶: 並木会長 司会進行: 久保田副会長

オリエンテーション 参加者自己紹介 作業場案内

10:30 (グループ別) 草刈り作業(説明:西嶋館長)

11:30 (グループ別) バーベキュー場でカマド作り、食
材等の運び込み

*バーベキューで昼食と親睦会

13:30 バーベキューの後片付け その後終了、解散

13:30~14:00 クラブ事務会(第二例会) (@4階教室)

巻 頭 言

「暖かい心で」

長谷川 あや子

2025-26 年度八王子クラブ会長をお受けすることになりました。



初めて会長をしたのは
2003-04 年度、二度目は 2015-
16 年度、そしてこの度、10 年ぶ
りに会長のお役を頂きました。

八王子クラブは 20 年以上に
わたり中央大学 YMCA ひつじ

くもの皆さんと交流を重ねてきましたが、振り返ってみて
忘れられない言葉があります。随分前のことですが、ひ
つじくもの中の一人が「クラブの皆さんが暖かく迎えてく
れるので…」と云われたことが私の心に強く残っていま
す。チャリティコンサート、草刈りボランティアなど一緒に
働き、汗を流しましたが、取り立てて「暖かく迎える」という
意識がなかったもので、“そんなふう”に思っていてくれたの

今月の聖句 (2025 年 5 月)

イエスは、ご自分を信じたユダヤ人たちに言われた。「私の言葉にとどまるならば、あなたがたは本当に私の弟子である。あ
なたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にする。」 (新約聖書 ヨハネによる福音書 8:31~32)

か」とむしろ私のほうこそ有難く感動しました。

「八王子クラブのチャリティコンサートに4年間続けてボランティアで参加できたことは、自分の誇りになっている」と言ってくれた人もいました。私たちにとってこんな嬉しい言葉はありません。世代を越えて、境遇を越えて心が通い合うことほど幸せなことはありません。

メンバー、メネット、そして八王子クラブに思いを寄せて下さる方、一人一人が大切な仲間です。これからも“暖かい風”を周囲に送っていきましょう。

入会のご挨拶

高尾わくわくビレッジ 館長 西嶋 健太

東京八王子ワイズメンズクラブの皆様、はじめまして。このたび東京八王子ワイズメンズクラブに入会させていただきました西嶋健太と申します。現在、高尾の森わくわく



ビレッジ(YM サービス株式会社)に所属しており、10年ほど前まで東京YMCAにて5年間勤務し、その間山中湖センターや江東コミュニティセンターでの業務に携わっておりました。

趣味は NBA の試合観戦で、迫力あるプレーから元気をもらっております。今回がワイズメンズクラブへの初めての入会となりますが、東京八王子クラブの一員として活動に参加できることを大変嬉しく思うとともに、このような機会をいただけたことに心より感謝しております。

私は青少年の健やかな成長を支援し、地域に貢献する奉仕活動に深い熱意を持っております。先日、4月に行われた東京八王子クラブのゴミ拾い活動に初めて参加いたしました。小雨の中での活動ではございましたが、クラブの皆様とともに街を歩きながらゴミを拾ううちに、普段は見過ごしがちな小さなゴミや街の変化にも目が向くようになりました。活動後には、街並みや自然への意識が一層高まったことを実感いたしました。この経験を通じて、奉仕活動が自分自身の視野を広げ、地域への愛着を深める貴重な機会であることを改めて感じております。

また、小学生と幼児の娘を持つ父親でもあります。子育てをする中で、子どもたちが健やかに育つ環境や、地域

コミュニティの温かさの大切さを日々実感しており、父親としても青少年の育成や住みよい地域づくりに少しでも寄与できればと願っております。



西嶋健太さん入会式 立ち合い人・ピーターあずさぶ部長並木会長 及び 紹介者:菅野牧夫氏

第23回チャリティコンサート

アンケート；分析結果

実行委員長 花輪宗命

本ブリテン4月号(第358号)で報告した通り、八王子クラブの看板CS事業のチャリティコンサートは、去る3月15日(土)八王子北野市民センターホールで、大勢のお客様をお迎えして成功裏に開催されました。



当クラブでは、次年度以降もこの事業を発展させていくことを願って、その参考にすべく、参加者の皆様にアンケートにご回答頂

くようお願いしていますが、今回も166名の皆様にご協力を頂きました。本欄を借りまして、ご協力いただいた皆様にお礼を申し上げるとともに、その分析結果の概要をご報告します。

回答いただいた方の属性としては、先ず性別の割合は、男性33%:女性64%と、女性のファンの方々が男性の約2倍となっています。

年代別の内訳は、40代が1.2%、50代が10.2%、60代が11.5%、70代以上が77.1%となっており、高齢世代が圧倒的に多くなっています。これは、チケットの頒布頑張った八王子クラブのメンバーの平均年齢の高さ反映していると思われます。

お住まいの地域では、八王子市が60.8%、日野市が18%、町田市が3%と続き、地元からのお客様が9割を占めています。コミュニティ・サービス事業としては当然の結果ですが、中には、甲府市や横浜市、或いは都内の

ワイズメンと思われる参加者も多数おられ、これら遠隔地からの参加者の方々のご理解とご協力には、心から感謝申し上げます。



お陰様で満員のお客様

Week for Waste 活動報告

会長 並本真

Week for Waste(ゴミ・廃棄物の週)に伴い、4月26日(土)に行われたゴミ拾いについて、報告いたします。

ワイズメンならすでにご存じのことですが、この「Week for Waste」は、2021年から世界中のワイズメンズクラブが参加し、毎年4月に実施されており、身の回りのごみ拾いを世界中のワイズ全員が一斉に行い、地球を



綺麗にしようというものです。

今回のゴミ拾いには、中央大学ひつじくもから代表の榎田くん、ワイズ担当の石原島さん、小宮さん、そしてあずさ部部長のピーター・マウントフォードさんも参加して下さい、八王子メンバー7名と合わせて総勢11名で、例会前16時～17時の1時間、例会の会場の八王子市北野事務所周辺を2班に分かれて、ゴミを拾いました。集合時間に雨が降り出して、どうしようかと思いましたが、始めることに小降りになり傘を持ちながら決行しました。

若者班と熟練班に分かれました。若者班は機動力を生かしてぐいぐい拾って、熟練班の方たちは周辺のゴミを拾って頂こうと思いましたが、後から写真を見せて頂くと若者班に負けないうらい、いやそれ以上に遠出してゴミを拾っていらっしゃいました。

1時間で集まったゴミは5kgくらい。落ちているゴミの量から考えると大したことないかもしれませんが、私たちがゴミを拾っている姿を見て、もしかしたらたばこやゴミのポイ捨てをしていた人が辞めるかもしれない、そう考えると、このゴミ拾いも意味があることだと思うのです。ゴミ拾いは、誰でも簡単にできるボランティアです。

今回もゴミを拾って清々しい気持ちになりました。みなさま、お疲れさまでした！



部長のピーター・マウントフォードさん



雨にも負けず 傘さしてゴミ拾い

4月例会 ドバイ報告 岩崎葵さん

「アラブ首長国連邦ドバイで開催のIYCに参加して」

皆さん、こんにちは。紹介にあずかりました中央大学四年生のひつじくも岩崎葵です。このメーカーに出席させていただくのは2回目なんですけれども、昨年2024年

の11月にドバイで開催さ

れたIYC大会の報告をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

今回は私たちの活動のために多大なる支



援をさせていただき、本当にありがとうございました。皆様のお力添えのもと、私たちはドバイという日本では経験できない貴重な機会に立ち会うことができました。

活動報告に入る前に、ドバイという国について少し説明させて

ていただこうと思います。こちらドバイの国旗ですね。皆さん、もちろんドバイ、アラブ首長国連邦、聞いたことある国だとは思いますが、どんなイメージをお持ちですかね。ドバイという国？そうですね。私もそうでした。石油王がいて、お金持ちで。みたいなイメージがあったけど、実際にどんな国なんだろう、何が有名なんだろうってはいあんまり知らないですね。あのドバイに行く前にちょっと調べてみたんですね。見えますか？



ドバイはアラブ首長国連邦、ドバイ首長国の中心都市となっております。中東とこちらペルシヤ湾の南側にある国で、あのヨーロッパからもアラブの方からも行きやすいところになっています。人口は約350万人だと言われていて、人口の大部分約80%が外国人労働者だと言われています。なので、すごいマルチカルチャーの多国籍な国ですね。

その理由として、所得税や法人税が基本的にないこと。またヨーロッパ、アジア、アフリカの交差点に位置して、世界的に見ても治安が非常に良い国だと言われております。私、実際に行った時も夜でも物騒な感じとかはなくて、結構中心都市にいたとはいえ、あの、例えば、救急車の音が毎晩聞こえるとか、そんなことは全くなくて、治安が良い国だなと思ったのが印象的でした。また、外国人労働者や投資家を受け入れるために、ビザの発給や移住政策を柔軟に行っています。特にゴールドンビザなどの長期滞在ビザプログラムが優秀な専門家や富裕層を引きつけているみたいです。

石油が取りやすくお金持ちの国っていうのももちろん理由の一つとなっております。こちらUAEディルハム。お金の単位がディルハムですね。国家体制。こちら左下に見えるのが統治者。七つの首長国からなる連邦制国家です。この人の名前が長いですよ。シェイクム・ムハムド・ビン・ラーシド・アルマクトゥームこれ、ちょっと覚えようと思ったんですけど、無理ですかね。ちょっと呪文みたいな名前。のポーチ者の方となっております。公用語はアラビア

語でイスラム教が主流となっています。イメージ通りの写真ですね。

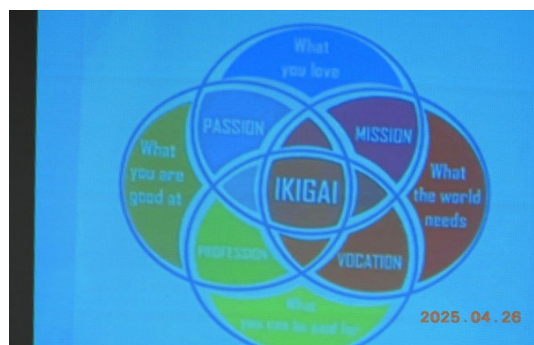
不動産開発、高層ビルやラグジュアリー施設の建設が盛んとなっています。すごい人気です。ドバイチョコレート特に女の子が大好きな人気なんです。ドバイチョコレートって中にピスタチオが入っているチョコレートなんですけど、実際買って食べたんですけど、家族に買ったお土産のつもりが、自分でたくさん食べてたぐらい美味しかったですね。

これから活動報告に入らせていただきます。まずセッションについて報

告させていただきます。今回のIYCが前回のネパールのAYC大会と違ってインドの参加者が全体の

20人で一番多かったです。何が一番難しいかというと、インドの方々すごくしゃべるのが早くて、訛りがすごい強いんですね、英語のだから。

私たちが知ってる英語じゃないみたいな英語を話すので。前回はAYCだったので、アジアの子たちがしゃべる英語だったんですけど、今回は中東の子たちがしゃべる英語っていうのを聞き取ってセッションをしなきゃいけなかったのがとても難しかった印象です。私はランダムに決められたチームで振り分けられた中でセッションをしています。そんな意図が正確に伝わらないことなどもあったんですけど、意識したこととしては、シンプルで明確な言葉を使うことや、英語やジェスチャーをしっかりと使うことと、あとわからないことは正直に聞き返す。シンプルなんですけれども、すごい大切なことを意識してセッション



を行いました。私が印象に残っているセッションが「生きがいについて」のセッションです。こちら真ん中に「生きがい」という言葉がちょっとちっちゃいんですけど、ありますね。「生きがい」って日本語なんですけれども、こちら世界中で使われている言葉となっております。例えば、日本で言うかわりにっていう言葉が外国人に言っても伝わ

るように、「生きがい」という言葉も少しずつ世界につながり広まっていっているそうです。最初、「生きがい」とは何ですか？悪い生きがいって、私、マイクを向けられた時に何だろうと思って、ミーニングオブライフ生きている意味みたいな感じに、生活の意味みたいに言ったんですね。けど、世界の各国のニュースはやっぱりそれぞれいろんな意見を持っていました。例えば人生において何かを達成したり、充実感を感じられること、自分が生きている理由や目的という意味で答えた子などもありました。で、この中にちっちゃくて見づらいんですけど、「what you love. あなたが愛することとは何でしょう？」こちらも印象に残っていて、生きがいを見つける第一歩だと言っているイムジンの子がいました。

趣味、仕事、人間関係、あるいは夢中にひたれる活動など、自分の心をワクワクさせるものです。これをしている



と、時間を忘れる、心をが安らぐ、情熱を持って取り組めるなど、感じることを見つけて、自分のワクワクすることを

「what you love. 私が愛するものを何か。」それが生きがいにつながっていくのだと話していらっしゃってとても印象に残っております。

こちら現地のインターナショナルスクールですね。交流を行いました。これ私で、こちらがもう一人、東日本から参加した下山さんなんですけれども、真ん中にいるのがインド人の女の子ですね。ピンク色の人です。私たちは日本の折り紙を世界に紹介しました。これ同じことを去年のAYCアジア大会でもやったんですね。今回それととてもあの手応えを感じたので、IYCでも世界の人たちにも知ってほしいということで折り鶴を紹介しました。でも教えた時にAYCの参加者とIYCの参加者全く反応が違いました。どう違ったと思いますかね？AYCの参加者もみんなはもちろんアジアの方だったので丁寧に折り紙を折ることができるんですけど、IYCの参加者は途中でやめてる人もいました。こんなんやってられない、わかんない難しい。人数も今回多かったっていうのもあって。日本人の参加者は前回と今回同じくらいだったので、ちょっと指導が行き届かなかったっていうところもあるんですけど、ここにも文化の違いを感じました。やっぱりアジアの子の方が折り紙に親しみがあってすごくきれいに折るんですね。角と角を合わせる。インド人はやってらんないでやめちゃう方もいました。でも、別に不評だったとかそういうわ

けじゃないんですよ。あの折れた子とかは、やっぱりあの折り紙っていうものは手軽に持って帰れることや、見た目や色が華やかで、こんなに小さな柄に日本の文化を美しく表現してくれる素敵な文化ですよ。あのネームタグのところにに入れて持って帰ってくるって子がいたり、あの女の子なんかを写真撮ったりして、あのちっちゃいお土産として持って帰ってくれたのがすごく嬉しかったです。特徴的です。



次に、このインターナショナルスクールで話し合った世界各国の問題について話し合ったことについて軽く紹介させていただきます。日本は世界で最も進んだ少子高齢化出生率が低下して高齢化が加速しているということですね。韓国も同じで高齢化のスピードが速く、2025年には総人口の20%以上が65歳以上となる超高齢化社会になると予測されております。私のチームが日本の子と韓国の子とインドの子がいたので、この三カ国についてお話しさせていただきます。インドは少子高齢化よりも人口増加が主な課題となっております。出生率は緩やかに減少していますが、それでもまだまだ人数が多いですね。やっぱりアジアとインドとでこんなに違うんだっていうふうに、物価の違いをここでも感じる事ができました。日本は今、労働力の減少が問題となっております。先ほどお話しさせていただいたように、ドバイは多国籍な国。80%ほどが外国人労働者。皆さんどう思いますか？日本の働き手が減っていて、海外の海外から出稼ぎに来る外国人が増える。日本の働き手が少ない。どうやって補おう。じゃあ外国人を雇おう。これについてどう考えますかね？私は賛成したい気持ちと、日本の文化は日本で守ってきたいからどうしてもやっぱり。と思っちゃう二つの自分が自分の中にいます。今はそのAIなども発展していて、そちらの機械の方に頼っていきながら経済を发展させていくっていうふうな政策ももちろんたくさん行われているので、自分たちにできることは何か考えながら生活をしていきたいなと思っております。

世界各国の諸問題について話し合ったインターナショナルスクールについて克服させていただきました。セッションについては、何かセッションなどについてのご質問などある方いらっしゃいますか？いいですかね。そしたらち

よっとまた他のプログラムについて報告させていただきますね。

中身で観光を行いました。こちら、真ん中に写ってるのラクダです。私、人生で初めてラクダに乗ってきました。大きいんですよ。ラクダの上に3人乗りましたね。乗ってあの砂漠の中をツアーしたりと、こちら一番左に見えるのが砂漠の中のツアーでして、フォーノのファイアーショーを見ることができました。右に見えるのが、美術館の前で撮った集合写真。実際、もっと人数、あとの5〜6倍いるんですけども、観光名所を巡ることができました。



こちらアジアのメンバーですね。全員二年前のAYCに参加したメンバーです。一年ぶりに久しぶりっていら

感じになって、一年に1回しか会えない仲間にもかわらず、やっぱりその過ごす1回1回の思い出がすごく濃いので。一年ぶりに会っても久しぶり、今年もまた頑張ろうねってうふうですごく良かったです。こちら首都に着いた日にそのまま海に行って遊んできました。はい。で、こっちちょっと見えなくて申し訳ないんですけども、浜

があるんですね。白浜があって、こちらが人工の白浜となっております。砂がサラサラしてるといよりかは、少しゴツゴツしている印象



でし。あの裸足で走ったりしてたので、なんか変な感じするなと思いつながら、やっぱり現地に行つて。でしか味わえないような経験ができたと思います。次です、ドバイモールの中にある。左がダイソーで右が無印良品ですね。

あるんだって思いましたけど、無印良品、ダイソー、今すごいあのワールドワイド広がっていて。私、一ヶ月前までオーストラリアに留学に行っていたんですけども、そこでもダイソー、無印良品ありました。で、私がびっくりしたのが、このドバイモールすごい大きいモールなんですけども紀伊国屋があったんです。あ、紀伊国屋もあるんだと思って。まあ、なんとなくダイソーとか無印って。若者にも人気ですし、あの世界展開もされているので、ここはそんなに驚かなかったんですけど、紀伊国屋はびっくりしましたね。あるんだって思いました。これがゼラーナイトという最終日のものですね。私たち日本の文化、着物とあと日本の制服着て参加しました。ここで表彰してもらっ

て、一人一人名前を呼んでもらって表彰をいただいて、あとは歌を歌ったり、ギター弾いたり、ダンスを踊ったり、いろんな文化を交流して楽しい夜となりましたね。

こちらご存知ですかね？世界一高い建物とされているブルジュカリファですね。私これどうしても見たくて、ちょっと一人で夜散策に行っちゃいました。世界一高い建物っ



てどんななんなんだろうと思ったんですけど、意外と行ってみたらこんなもんかっていう感じですね。あの、あんまりスカイツリ

一見てると変わらない印象でしたけれども、でもあの綺麗だったことはとっても綺麗でしたね。前に噴水ショーもやっていて、30分に1回しかなくて、終わった瞬間に着いちやったので、あの30分間待って噴水ショー見てブルジュカリファ眺めてきました。観光名所となっているところ。写真の発表は以上となります。

今回はたくさんの推薦と支援をいただき、去年のAYCに加えて去年のAYCから引き続きたくさんの支援がなければ参加できないとても貴重な機会をいただき、とても感謝しております。朝早く見送りのために空港まで来てくださった並木さんをはじめ、多くの方々にとっても感謝しております。ありがとうございます。今年のAYCは日本で開催されます。熊本で開催されるということなんですけれども、私まだ21年間熊本に行ったことがありません。熊本、くまモン、あとは何だろう。これからたくさん調べて、アジアの子たちに伝えていけるように頑張っていきたいと思います。また、海外のユース若い子たちと話してて本当に実感するのが日本における。アニメの文化ってすごく強くて、もうドラえもん、しんちゃんとかそこらへんはもう当たり前で、やっぱり今はもっといろんなアニメがありますね。有名どころで言うとワンピースナルトなどと、今私も知らないぐらいたくさんのアニメ漫画ありますと。ちょっと前に流行ったのだと、鬼滅の刃とかですかね。それ以外にもアジアの子たちの方が私よりも詳しいんじゃないかってぐらい。アニメってとても世界に影響力があるので、私もそっちも勉強していければいいかなと思っております。また、昨年と今年度の活動を通して、ワイズメンの活動についてももっと知識と理解を深めていきたいと思いました。自分にできることをあと数ヶ月頑張っていきたいと思ひます。こちらで私の発表は以上とさせていただきます。ありがとうございました。

特別寄稿

八王子クラブに参加して

東京グリーンクラブ 小に恵子 さま

4月例会は、西嶋健太氏(わくわくビレッジ館長・担当主事)の入会式が、あずさ部ピーター・マウントフォード部長立会いのもと行なわれました。入会式に同席する機会を得られたことに感謝しています。自身も新たな気持ちに向き合えたことはとても嬉しいことでした。



ありがとうございました
卓話では中央大学学生 YMCA ひつじくも4年生の岩崎葵さんが「アラブ首長国連邦ドバイで開催された IYC に参加して」と題してお話しされました。

岩崎葵さんは AYC ネパールに参加して、今回 IYC ドバイにも参加されました。

アラブ首長国連邦(UAE)ドバイに対してどんな印象を持っているかという質問から卓話は始められ、人口の8割が外国人でそのうちインド人が大半を占めていること、公用語はアラビア語であるが英語で問題なく生活することができることなどなど。AYC と IYC 両方の海外派遣に参加したことで沢山の違いに気づくことができたのではないのでしょうか。海外から日本がどんな風にみられているのか、思われているのかなど色々な体験をされてきたことでしょう。この貴重な体験は生涯忘れられないものになることと思います。

以前から八王子クラブ例会に是非お邪魔したいと思っていたきっかけは、東京北クラブ(2022年解散)に在籍していた時、東京グリーンクラブ 50 周年記念例会で偶然長谷川あや子ワイズと同じテーブルになり、親しくお話しさせていただいたことが始まりでした。

八王子クラブといえば中央大学学生 YMCA「ひつじくも」との積極的な交流をしているクラブであること、長きにわたりチャリティーコンサートや街頭募金活動を学生たちと共にされていることは伺っていました。東京北クラブも清泉女子大学学生 YMCA と交流をしておりましたので、共通の話題もあり色々お話しさせていただきました。

地雷廃絶日本キャンペーンの対人地雷・クラスター爆弾の廃絶運動の支援のためのチャリティーコンサートを長きにわたり続けてこられていることなども伺い、お誘いを受けてチケットを購入していましたが、なかなか伺うチャンスがありませんでした。

この3月に行なわれた第23回のチャリティーコンサートにやっと伺うことができました！

当日の会場は既に沢山の方々が来場されていました。補助イスを並べるほどに満員状態の盛会でした。お隣り同志だったり、離れたところにいるお仲間たちとも話しが弾んでいたり、数年続けて来ている方が昨年のことを話している様子を見聞きしていると、八王子の地元にも根付いていて楽しみにされているコンサートであることを肌で感じました。

奈良原繭里さんの澄んだソプラノの美しい歌声とヴァイオリンの優雅な音色に癒やされ、お気に入りのひとつショパンのワルツ第1番「華麗なる大円舞曲」ピアノソロの軽快なリズム感を十分に楽しませていただきました。

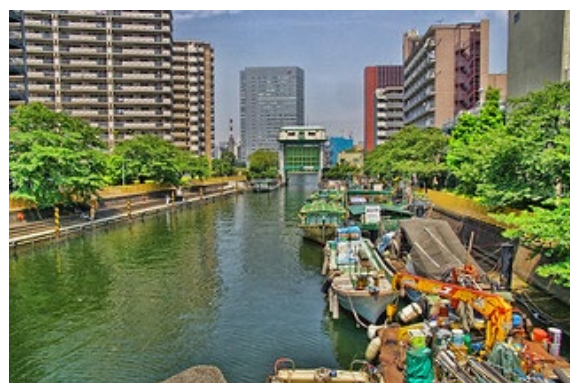
ひつじくもの学生たちがチャリティーコンサートの運営に参加して、笑顔で受付業務や会場の設営、案内、お出迎え、照明などのお手伝いをワイズの方々となされている姿はみていて気持ちのいいものでした。

そして毎月のプリテンにある「ひつじくも便り」やイベント開催時の学生たちからの感想を読ませていただくと、ワイズメンからの声かけ、やさしい話し方、そして仕事を任せてくれるなどの接し方を彼らはきちんと受け取っているのが伺える素敵な関係なんですね。これは八王子クラブのワイズメンの丁寧なそしてしっかりしたサポート体制がもたえていることなのでしょう。

今回は他部からの例会参加を気持ちよく受け入れてくださって、有り難うございました。

追記:

偶然岩崎葵さんとお喋りしながら駅まで一緒することになった。若い皆さんが生き生きとした表情で話される様子や一生懸命取り組んでいる姿をみさせていただき、元気を貰っている自身を感じました。嬉しいひとときでした。



第91回神田川船の会(東京 YMCA 主催)
後援:東京グリーンワイズメンズクラブ

(雨天予報により中止となりました)

次回をお楽しみにしててください。

今月の聖句によせて (2025年4月)

「私たちは何も持たずに生まれてきました。それは私たちそれぞれ自身が貴いものであるからです。めでたい運命の数々は、悉く私たちの内に備わっています。その何よりも貴い自分を、より卑しいもののために、すり減らしてしまったり、めでたい運命を開かず封じ込んでしまったりすることになるのは、皆わが身のほかにもさまざまな持ち物を求めようとするからです。」

羽仁もと子さんは述べています。私たちが不幸にする第一の原因は、様々なものを自分の内側に蓄えたいと思うことだ。私たちは何も持たずに生まれてきた。本来大切なことはこのことで、自分の信ずる道は、死ぬまでこの本来大切なことを守り通すこと。人間の陥る第一の過ちは、自分の身の回りに様々な物を所有しようとすることで、本来、自分の成長の助けになるための物であったのが、そのものを所有することに重きを置くようになってしまう。私たちは、どこまでいっても自分の命のほかは何をも持っていない。私たちは、友を、恋人を、夫や妻を、親や子を、所有するものだからいろいろ醜いことや悲しむべきことが多く起こる。人間はみんな自由であり、誰の所有でもないのです。個々の生命は絶対に自由です。この生命の総合的な働きは愛であると私は思っています。私たちの生命がほんとうに発達すればするほど愛の対象は高くなり、大きくなってゆきます。”羽仁もと子著作集「思想しつゝ生活しつゝ(下)」より”

【日本ではじめての女性ジャーナリスト、「婦人之友」の創刊、「自由学園」、「全国友の会」の創立などで知られる羽仁もと子さん。創立された「自由学園」の名称は、今月の聖句、新約聖書ヨハネによる福音書の「真理はあなたがたを自由にする」に由来しています。】

並木信一



ひつじぐも便り

中央大学国際ボランティアサークルひつじぐも

3年 榊田 悠吾

こんにちは。麗春の候、心地よい五月晴れの折から、お元気にお過ごしのことと存じます。新年度になりまして



ひつじぐもの活動もより一層活発になり、昔からの活動を重きにおきつつ、新しいことに挑戦するように各々が模索しております。

さて、今回はひつじぐもの4月の活動報告をさせていただきます。今月は新年度恒例の新歓活動を主にご紹介させていただきます。4月の初週から多摩キャンパス・茗荷谷キャンパスにてビラ配りや説明会を行いました。ひつじぐもの魅力を伝えるために、多くのメンバーが手伝いに参加してもらいその後の新歓活動につながる成果をだすことができました。

次に実際の新歓活動についてお話させていただきます。今回の新歓活動としてはひつじぐもの看板活動ともいえるごみ拾いと児童館活動を行いました。

最初に4月7日に行われた池袋ごみ拾いについてです。新歓生と現役生を含め、約50人規模でゴミ拾い活動を行いました。池袋という街は非常にゴミが多く、ゴミ袋が満杯になるほどの量を回収することができました。また、本来の目的である新歓活動においても新入生が同じ学部同士で固まって友達作りをできたのはもちろんのこと、他学部や学年の幅を超えた交流の場となりました。

続いては4月26日に高幡不動にて行われた児童館活動についてお話させていただきます。こちらの新歓活動におきましても20名を超えるメンバーが集まり、児童館の子どもたちとの交流を行いました。当日私はその場にはいなかったのですが、後で児童館担当のメンバーに聞いたところ自分も行けば良かったと悔やむほど、楽しい雰囲気だったとのことでした。中にはその場でひつじぐもに入会したいと言ってくれた1年生もおおり、ひつじぐもの魅力を十分に伝えることができたことを胸を張っている活動であったと私は思います。

以上をもちまして、4月の活動報告とさせていただきます。これからひつじぐもの活動を見守っていただけると幸いです。また、季節の変わり目ということもあり、体調を崩しやすい時期にさしかかっております。皆様もお体をお気をつけてお過ごしください。

わくわくヴィレッジ便り

館長 西嶋 健太

2024年度が無事終了し、先日、当施設の事業報告を東京都へ提出いたしました。施設運営が大きな滞りなく進んだ点について、行政より温かい評価と感謝の言葉を頂戴し、スタッフ一同、改めて支えてくださった皆様への感謝の念を深くしております。

今年度は、より詳細な利用者アンケートを実施・分析し、サービス面で新たに対応すべき課題も浮き彫りになりました。特に「滞在中のプログラム選択肢を増やしてほしい」「予約手続きを簡素化してほしい」といった声が多数寄せられており、今後の改善方針に反映しております。こうした取り組みの背景には、コロナ禍前の2018年度と比較して、団体利用より個人利用のお客様が大幅に増加し、施設が新たなステージへ移行しつつあるという利用動向の変化があります。個人のお客様に寄り添った柔軟なサービス設計が不可欠であると痛感しております。さらに、4月の宿泊実績は過去3年間で最多を更新し、幸先の良い滑り出しとなりました。好調な需要を確かな成長へつなげるため、京王電鉄・東京YMCAとの協力体制を築き、視察や共同検討を重ねながら、新規事業の開発を本格化させています。自然体験プログラムの拡充や地域資源を活用したイベント企画など、多角的な事業案を検討中で、利用者の「学び」と「楽しさ」を同時に高めることを目指します。

加えて、予約受付の利便性向上に向けて、従来の電話対応からデジタルツールを活用したオンライン予約への移行を検討しています。これにより、24時間いつでも手続きが可能となり、利用者満足度を一層高められる見込みです。ICT導入によって窓口業務を効率化し、スタッフは利用者サポートや新規プログラムの企画により多くの時間を充当できるようになります。

利用者の多様化に応えるサービス刷新と新規事業の創出を両輪として、2025年度へ向けた挑戦が既に始まりました。今後とも皆様の変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



梅の実がなりました

4月クラブの例会報告

小口 多津子(書記)

4月第2例会・報告

日時: 4月12日(土)18:00~20:00

場所 北野事務所小会議室

出席者: 長谷川、稲葉、小口、久保田、花輪、望月、菅野、西嶋【並木会長は区役員会で欠席、久保田副会長司会】

新メンバー紹介、直前メンバー菅野牧夫さんが、4月から引き継ぎをされたわくわくビレッジ新館長の西嶋健太さんを新担当主事としてご紹介。

A. 報告事項

1. 能登半島震災&豪雨被災者支援のための街頭募金

3月1日(土)13:00~15:00まで 場所 JR八王子駅北口
参加者、クラブ11名、東京Y(中里、熊沢、)ビジター 田中博之(多摩スマイル)、前田亨(会長友人)

ひつじくも5名。

募金収益・117,068円を、東京YMCAの能登半島災害募金へ振り込み済み。

2. 東日本区次期会長・主任研修会

3月8日(土)~9日(日) 場所: 日本YMCA同盟 東山荘 長谷川、並木 出席

3. 第23回チャリティーコンサートの報告

3月15日(土) 14:00~16:00 会場 北野市民センター
出演 ソプラノ奈良原繭里、バイオリン笹川哲史、ピアノ 松井理恵、入場者数296名

益金¥253,862 JCBLへ¥150,000 東京YMCA 能登半島募金¥100,000 振り込み済み。

アンケート報告(花輪実行委員長が分析表を解説、別紙)、合計で166人の回答。ジャズの希望も多かった。注目される感想として、地元の高齢者は、都心までクラシックコンサートへは行かれないので、地元でこんないい音楽が聴けることは素晴らしい、という感想。

4. 台湾 高雄ポートクラブ25周年記念例会出席

3月21日~24日(クラブ:久保田、小口、稲葉、並木真、多摩スマイル、為我井さんの5名)記念式典出席、観光地の見学。10年前の新興高級中学の中学部とオーケストラと八王子の5校の中学校との音楽交流の10年目を記念した植樹に参加等。

B. 今後の予定、協議事項

1. 4月26日(土)例会前にW4Wゴミ拾い実施。北野市民センター周辺 15:40集合。

4月第一例会 北野市民センター2階 大会議室、卓話 はNYC2024inドバイ報告会 中央大学ひつじくも 岩崎葵さん卓話。

2. 5月17日(土)中央大学ひつじくも草刈り&新歓BBQ(担当B班、花輪班長)

終了後、教室で第二例会、名札作り(稲葉)、傷害保険

手続き(会長)

3.次年度クラブ運営体制、年間行事(別紙2枚)説明、
長谷川次期会長

・会長他役割分担(別紙)新規は、会長に長谷川さん、
会計に稲葉さん、担当主事に西嶋さん 他の役割は、前
年度通り。

・次年度の年間予定表(別紙)検討事項として

・9月の第二例会の日程、3月コンサートの日程、4月評
議会が八王子担当

4.次年度チャリティーコンサート出演者の件(久保田)

これまでの奈良原蒔里さんは過去4回出演された(コロ
ナ禍もあって)ので、来年は新しい出演者を検討中。来
年のコンサート日程は、第一希望日28日。 以上

4月第一例会・報告

書記、小口

日時・場所:2024年4月26日(土) 北野事務所

・3:40分事務所集合で、W4Wゴミ拾いイベントを4:45ま
で。(参加者、長谷川、稲葉、小口、並木真、花輪、望
月、西嶋、ひつじくも/榊田、石原島、小宮、ビジター
ピーターマウントフォード部長(甲府))11名参加。

収集量は昨年並み。

・第一例会 pm6:00~ 大会議室

出席:長谷川、稲葉、小口、久保田、久保田佐和、花
輪、並木真、望月、並木信、並木雍子、大久保、山本、
西嶋、菅野。ひつじくも/榊田、岩崎、石原島、小宮、
ビジター・ピーター マウントフォードあずさ部部長(甲
府)、小仁恵子(東京グリーン) 計20名
卓話の前に、4月入会された西嶋健太さん(わくわくビレ
ッジ館長)の入会式。立会人に、あずさ部長ピーター・マ
ウントフォード(甲府)、紹介者の菅野牧夫氏、(わくわくビレ
ッジ前館長) 会長の入会誓約文の朗読と西嶋さん誓い、部
長より祝辞、菅野さんより紹介、西嶋さんの挨拶。
卓話:「アラブ首長国連邦ドバイで開催のNYCに参加し
て」ひつじくも4年 岩崎 葵さん(詳細はブリテン)、岩
崎さんにNYC参加支援金(あずさ部1万円、クラブ2万
円)。

・スマイル:11,300円

クラブ報告:会長

・5/10(土)あずさ部第3回評議会(富士五湖クラブ)並
木会長、久保田、長谷川、小口参加

・5/10(土)第91回神田川船の会(東京グリーン主催)
ひつじくも5名が招待された。

本日出席の小宮さん参加、他4名。昨年に続き東京グ
リーンからの招待。小仁さんの説明。

・5/17(土)中央大学ひつじくも新入生歓迎草刈とBBQ
担当(B班)高尾の森わくわくビレッジ

Am10時に4階会議室集合、開会式と説明、10時半・

草刈、11時半・BBQ・親睦

13時半終了後、14時まで5月事務会。会費(メン・1500
円、ビジター2500円、学生500)

・5/24(土)在京ワイズ会長会 午前中、東京Y山手セン
ター(会長、長谷川、西嶋参加予定)

・5/24(土)東京YMCA会員大会 13:30~ 東京YMC
A山手センター

・6/7(土)第28回東日本区大会 会場 ライトキューブ
宇都宮(申し込み受付中)

・8/1-3 アジア太平洋地域大会 会場 熊本城ホー
ル(申し込み受付中)

・7/30~8/3 アジア太平洋地域ユース大会(熊本Y
MCA、阿蘇キャンプ場 5月受付

定員50名(日本25名、海外25名)、日本は東西日本
区各12名。4万円ほどの補助有/1人

・例会終了後、8時から北野駅前庄屋にて、菅野さんと
西嶋さんの歓送迎会、部長、ひつじくも3名参加。

以上

先月の例会ポイント(4月)

在籍	11名	切手	計	0g
メン	11名	現金		0円
メーキャップ	0名	累計		0円
出席率	100%	スマイル		11,300円
メネット	0名	累計		100,300円
ゲスト	1名	オーグション		0円
ビジター	2名	累計		0円
ひつじくも	4名			

5月に誕生されたメンバー

望月 隆珉 さん 5月7日

望月 令子 さん 5月25日

